

社会福祉学科

社会福祉 専攻

科目名： 公的扶助論			担当教員 氏名： 南 義昭						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	1年次	後期	専門科目	講義	選択	社会福祉士国家試験基礎受験資格(必修)			
実務経験を用いてどのよう な授業を行っているかを 説明します。生活困窮者の 人権や関係機関との連携 の在り方、相談支援等の 実際について学習しま す。									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
<ul style="list-style-type: none"> 生活保護制度の概念と意義を理解する。 生活保護の歴史、構造、実施機関を理解する。 最近の動向を理解する。 					貧困・低所得者、生活困窮者、 住居並びに生活不安定者、 最低限度の生活、自立支援				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 3. 6. 9. 10				
A 知識・理解力			生活保護制度の構造を 理解することができる。						
C 論理的思考力			生活保護制度の流れとその他施策を比較しながら理解することができる。						
D 問題解決力			最近の動向を理解し、課題と解決について考えることができる。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	70 %	発表:	%	実技試験:	%	その他:	30 %
特記事項: 課題に対しテキストからの引用だけでなく、自分なりの見方、考え方に触れてあるものを評価する。その他出席態度を評価。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: レポート課題は7回目と14回目の講義時に提出する。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 授業の中でレポートの論点解説、確認をする。									
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)				
					学習内容	学習に必要な 時間(分)			
①公的扶助の概念、意義と役割					【予習】教科書第1章を読む 【復習】①の復習	【予習】40分 【復習】40分			
②貧困・低所得者問題					【予習】教科書第2章を読む 【復習】②の復習	【予習】40分 【復習】40分			
③公的扶助制度の歴史 海外					【予習】教科書3章第1節を読む 【復習】③の復習	【予習】40分 【復習】40分			
④公的扶助制度の歴史 日本					【予習】教科書第3章第2節を読む 【復習】④の復習【復習】①の復習	【予習】40分 【復習】40分			
⑤生活保護制度の仕組み、原理、原則					【予習】教科書第4章第1節、第2節を読む 【復習】⑤の復習	【予習】40分 【復習】40分			
⑥保護の種類と内容、保護施設					【予習】教科書第4章第3節、第4節を読む 【復習】⑥の復習	【予習】40分 【復習】40分			
⑦被保護者の権利と義務、不服申し立てと訴訟					【予習】教科書第4章第5節、第6節を読む 【復習】⑦の復習	【予習】40分 【復習】40分			
⑧生活保護の財源・予算					【予習】教科書第4章第7節、第8節を読む 【復習】⑧の復習	【予習】40分 【復習】40分			
⑨生活保護の水準					【予習】教科書第5章を読む 【復習】⑨の復習	【予習】40分 【復習】40分			
⑩生活保護の動向					【予習】教科書第6章を読む 【復習】⑩の復習	【予習】40分 【復習】40分			
⑪低所得者対策の概要					【予習】教科書第7章を読む 【復習】⑪の復習	【予習】40分 【復習】40分			
⑫生活保護の運営実施体制と関係機関・団体					【予習】教科書第8章を読む 【復習】⑫の復習	【予習】40分 【復習】40分			
⑬貧困・低所得者に対する相談援助活動					【予習】教科書第9章を読む 【復習】⑬の復習	【予習】40分 【復習】40分			
⑭生活保護における自立支援					【予習】教科書第10章を読む 【復習】⑭の復習	【予習】40分 【復習】40分			
⑮まとめ 事例を通して、仕組み、権利、動向、支援方法など					事例	【復習】40分			
使用テキスト: 新・社会福祉士養成講座 16「低所得者に対する支援と生活保護制度」 第5版 中央法規出版					その他参考文献など:				
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 近年、低所得者、生活困窮者の支援について大きな変化があります。新聞、テレビ等の報道からも新たな取り組みを理解していく必要があります。									